

- 第2部 -

平成17年度  
水産業の振興に関して講じた施策

平成18年9月  
宮 城 県



- 目 次 -

第2部 平成17年度水産業の振興に関して講じた施策

1	みやぎ海とさかなの県民条例に基づく「水産業の振興に関する基本的な計画」の概要	1
2	平成17年度に講じた施策	2
施策の展開	「量から質へ、健全な資源と環境づくり」	2
1	水産資源の適切な保全と管理	2
2	水産動植物の養殖及び増殖の推進	5
3	水産動植物の生育環境の保全と改善	11
4	秩序ある海面の利用	14
	主な取組	
	田代沖人工礁の一部を採捕制限区域に設定	18
	仙台湾におけるマコガレイの保護区域設定	19
	仙台湾の漁場環境について～海の健康診断シンポ～	20
	漁海況の予測と情報提供	21
	秋さけ(しろさけ)資源の安定確保に向けた取組	22
	サケマス卵のミズカビ病対策	23
	コイヘルペスウイルス(KHV)病の対策	24
	人工産卵床を用いたオオクチバス(通称:ブラックバス)の駆除	25
	漁業取締体制の強化～漁業秩序の確立に向けて～	26
	仙台湾における操業ルール構築への取組	27
施策の展開	「消費者の視点に立った安全・安心な生産・販売体制の確立」	28
1	安全で安心できる食品の生産・供給体制の確立	28
2	食の安全・安心に関する体制整備と関係機関の連携強化	30
3	多様化・複雑化する消費者の需要に対応した供給体制の整備	31
	主な取組	
	水産物の安全・安心の確保	34
	かきのノロウイルス(NV)対策による安全安心の推進	35
	水産物供給施設衛生高度化推進事業～超低温冷蔵庫の整備～	36
施策の展開	「高い意欲と能力のある人材育成と経営体のレベルアップ」	37
1	効率的で安定的な経営体の育成	37
2	人材の育成と確保	38
3	水産業に関する団体の育成強化	40
4	労働環境の整備	41
	主な取組	
	パソコン簿記(青色申告)について	44
	漁協運営基盤の整備	45
	漁業経営の構造改善～東名共同かき処理場の施設整備～	46

施策の展開	「地域に根ざした水産業の競争力の強化とみやぎブランドづくり」	4 7
1	付加価値の高い製品の開発及び販売の促進	4 7
2	研究開発と成果の普及の促進	5 1
3	産業間・産学官の連携による新たな事業の創出の促進	5 2
	<b>主な取組 気仙沼HACCPによる地域ブランドの推進</b>	<b>5 4</b>
	<b>水産物のトップブランドづくり</b>	<b>5 5</b>
	<b>水産加工品の新作発表</b>	<b>5 6</b>
	<b>「食材王国みやぎ」の発信</b>	<b>5 7</b>
	<b>県内商談会・県外商談会の開催</b>	<b>5 8</b>
	<b>海外商談会・見本市の開催</b>	<b>5 9</b>
	<b>魚肉を用いた高齢者食品の開発</b>	<b>6 0</b>
施策の展開	「水産業に関する県民理解の促進と地域環境の整備」	6 1
1	生産から消費までの情報の提供・共有と食育の推進	6 1
2	漁村地域の景観及び環境の保全	6 2
3	快適で住みよい地域環境の整備	6 2
4	都市や農山村との交流促進	6 3
	<b>主な取組 県民を対象とした「海の教室」の開催</b>	<b>6 5</b>
	<b>マリンチャレンジスクールの開催</b>	<b>6 6</b>
	<b>効率的で安全な漁港づくり</b>	<b>6 7</b>
施策の展開	「国への働きかけ」	6 8
1	国際的に対応が必要な取組について	6 8
2	水産物の安全・安心に関する全国的な取組が必要な事項について	6 9
3	広域的な資源管理が必要な取組について	6 9
4	水産加工原魚の安定的な確保について	6 9
	<b>主な取組 遠洋まぐろ延縄漁業の維持・存続について</b>	<b>7 0</b>